

## 安全データシート

整理番号 : SNE01TAG

作成 : 2000年 9月26日

R8 : 2025年 6月19日

## 1 化学物質等及び会社情報

## 製品情報

製品名 : Sn 錫 Tin

カタログ#	純度	形状	サイズ
SNE09GB	99.9%(3N)	粒状, ショット状	—
SNE02GB	99.99%(4N)	粒状, ショット状	2~3 mm
SNE03GB	99.999%(5N)	粒状, ショット状	2~3 mm
SNE10GB	99.9999%(6N)	粒状, ショット状	2~3 mm
SNE01WB	99.9%(3N)	ワイヤー	φ0.5 (mm)
SNE02WB	99.9%(3N)	ワイヤー	φ1 (mm)
SNE03WB	99.9%(3N)	ワイヤー	φ2 (mm)
SNE01RB	99.99%(4N)	タブレット	φ10×t5 (mm)
SNE02RB	99.99%(4N)	タブレット	φ20×t5 (mm)
SNE04RB	99.999%(5N)	タブレット	φ20×t5 (mm)
SNE01CB	99.99%(4N)	チップ	10×10×t1 (mm)
SNE02CB	99.99%(4N)	チップ	5×5×t1 (mm)
SNE01SB	99.99%(4N)	シート	100×100×t1 (mm)
—	99.99%(4N) 99.999%(5N) 他	ターゲット	各種サイズ

## 会社情報

会社名 : 株式会社 高純度化学研究所

住所 : 〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電話 : 049(284)1511 FAX : 049(284)1351

作成部門 : 品質保証部

推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用

## 2 危険有害性の要約

## GHS分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2 標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分3 標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分1	データなし	可燃性固体 : 区分外 自然発火性固体 : 区分外 自己発熱性化学品 : 区分外 水反応可燃性化学品 : 区分外

## GHSラベル



絵表示

注意喚起語 危険

危険有害性情報	注意書き
強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ 長期又は反復暴露による臓器の障害	取り扱いの際には保護眼鏡, 手袋, 保護マスク, 保護衣他必要な保護具を着用すること。 粉塵, ミストの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

	<p>吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、楽な姿勢で休息させる。</p> <p>眼に入った場合、流水で数分間注意深く洗う。刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。</p> <p>暴露した時、または気分が悪い時は医師に連絡すること。</p> <p>涼所に置き、日光を避ける。容器を密閉して換気の良いところで保管する。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>内容物/容器を法規に従って廃棄すること。</p>
--	--

**国・地域情報：**・ 労働安全衛生法 通知対象物(すず及びその化合物)

**その他の危険有害性：**・ 該当項目に参考情報を記載した。

3 組成, 成分情報	単一製品, 混合物の区分: 単一製品
化学名: 錫	Tin
化学式: Sn	組 成: 100 %
P R T R法に基づく表示: ・ 非該当	
官報公示整理番号: ・ 化審法 対象外 元素	
C A S #: 7440-31-5	RTECS#: XP7320000
T S C A: 登録	EINECS: 2311418

#### 4 応急措置

- 目に入った場合: ・ 流水で眼を最低15分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。
- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。
- 皮膚に着いた場合: ・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。
- 吸入した場合: ・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。
- ・ 鼻をかませ、うがいをさせる。
- 飲み込んだ場合: ・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

#### 5 火災時の措置

- 一般的注意: ・ 表題製品は消防法の非危険物である。
- ・ 消火の際には必ず保護具を着用する。
- 消火方法: ・ 他の危険物の消火条件に従う。消火剤や消火方法の制限はない。

#### 6 漏出時の措置

- 一般的注意: ・ 可能であれば漏れを止める。
- 処理作業者に対する注意: ・ 作業の際には保護具を着用し、粉末の付着、吸入を防ぐ。
- ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。
- 環境影響に対する注意: ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。
- もれ出た物の処理に対する注意: ・ できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

#### 7 取り扱い及び保管上の注意

##### 取扱上の注意

- \* 作業者の暴露防止: ・ 適切な身体保護具を選んで着用し、局所排気装置を利用して作業者が物質に触れないように、また物質の粉塵を吸引しないようにする。
- ・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

##### 保管上の注意

- \* 一般的注意: ・ 容器を密閉し、乾燥した冷暗所に保管する。
- ・ 品質保持上、成型品は未開封状態で保管してください。

#### 8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度: ・ 作業環境評価基準(2020) 規定なし。
- (参考) ・ 土石, 岩石, 鉱物, 金属又は炭素の粉じん 3.0 mg/m<sup>3</sup> (25°C, 1atm, 空气中)

許容濃度：・ 下表参照(－：記載なし)

成分名	機関名	厚生労働大臣が	産衛学会	ACGIH (2024)	OSHA (2006)
		定める濃度の基準(2023)	(2023)	TLV-TWA	PEL-TWA
		ppm	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>
錫		－	－	2 (I)	－

TLV, PEL : いずれも許容濃度、TWA : 時間加重平均値、I : 吸引性粉塵

設備対策：・ 粉塵に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等を使用すること。

保護具：・ 空気呼吸器, 防塵マスク, ゴーグル型保護眼鏡, 保護手袋, 保護長靴 等

## 9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外観等：・  $\alpha$  : 灰色金属,  $\beta$  : 白色金属

化学式： Sn

式量： 118.7

融点： 231.97 °C

沸点： 2270 °C

密度：  $\alpha$  : 5.75g/cm<sup>3</sup>,  $\beta$  : 7.31g/cm<sup>3</sup>

溶解性

\* 水：・ 不溶

\* 可溶：・ 酸(濃硝酸を除く), アルカリ水溶液

可燃性：・ 不燃性

酸化性：・ なし。

## 10 安定性及び反応性

化学的安定性：・ 室温密封保存で安定である。

反応性：

\* 避けるべき条件：・ 熱, 湿気

\* 混触危険物質：・ 強酸化剤, 硫黄, 強塩基, ハロゲン類, 酸

## 11 有害性情報

急性毒性：・ GHS 判定 データなし。

皮膚腐食性/刺激性：・ GHS 判定 データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：・ GHS 判定 区分2 ; 強い眼刺激

呼吸器感受性/皮膚感受性：・ GHS 判定 データなし。

生殖細胞変異原性：・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等(令和6年12月12日現在)に該当しない。

発がん性：・ GHS 判定 データなし。

・ 日本産業衛生学会(2023), IARC(2024), NTP(2021), ACGIH(2024)による発がん物質に記載なし。

生殖毒性：・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回暴露：・ GHS 判定 区分3(気道刺激性); 呼吸器への刺激のおそれ

反復暴露：・ GHS 判定 区分1; 長期又は反復暴露により臓器の障害(肺)

誤えん有害性：・ GHS 判定 データなし。

## 12 環境影響情報

水性環境急性/慢性有害性：・ GHS 判定 データなし。

オゾン層への有害性：・ GHS 判定 データなし。

・ フロン, ハロンでない。

魚毒性：・ 現在のところ知見なし。

分解性：・ 現在のところ知見なし。



- 3) 事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版(ver. 2.1) 経済産業省)
- 4) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP ; (独)製品評価技術基盤機構(NITE))
- 5) 日本化学会編, 化学便覧 基礎編 改訂 6 版 ; 丸善
- 6) 化学大辞典 ; 共立出版
- 7) David R. Lide, CRC Handbook of Chemistry and Physics 76th Ed., CRC Press
- 8) GESTIS-database on hazardous substances ; (IFA)

IFA : ドイツ労働災害保険協会労働安全衛生研究所

注意事項 : ・ この安全データシート(SDS)は製品の危険, 有害性等に関する情報を提供するものです。製品の品質や性能, 安全性(物性値、危険有害性情報等)についてはいかなる保証をなすものではありません。

記載内容は作成時点において入手可能な資料, 経験に基づき作成しておりますが、情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合に修正, 追加されることがあります。

ご使用の際は、使用される国, 地域などの法規制情報等をご使用者において調査され、最優先していただくとともに、安全に注意してご使用ください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。